

第6章 閉会の挨拶

副所長 諸星 一信

6章 閉会挨拶

(国土技術政策総合研究所 副所長 諸星一信)

ただいま御紹介いただきました副所長をやっております諸星でございます。勤務は横須賀でございまして、港湾と空港の担当をしております。

本日は、皆様、お忙しいところ御参集いただき、また熱心な御討議をいただきましてまことにありがとうございます。

本年は、講演でも話題に出ました台風15号、19号がございすけれども、それ以外にも、昨年、関西国際空港に大きな被害を及ぼした台風21号ですとか、西日本豪雨、それから胆振東部地震とか様々な災害が記憶に生々しいと思います。これまで指摘されていたように、台風の多頻度化、大型化、これが現実のものになっているというふうに私も感じます。また、強風のために港におかれていたコンテナが飛散・漂流したり、船が漂流して橋に衝突したりといった、これまであまり見られなかった被害が立て続けに発生しており、災害の多様化も進んでいるのではないかなというふうに感じられるところでございます。こういった状況に対応すべく、我々国総研といたしましても、それぞれ部署で研究を進めております。

この際に重要だと思われますのは、単に災害を克服するというだけでは不十分であり、後世によりよい国土を残すために、併せて地域を振興していくということが重要であると思っております。今年の国総研講演会のメインテーマは、「社会資本ストックの維持・更新・活用と地域の発展」であるわけですが、最後に地域の発展という言葉が入っているのも、そういった趣旨であると考えます。

午後の臼井先生の講演は、この地域振興を考える上で、極めて時宜を得た素晴らしい内容ではなかったのかなというふうに思っております。

また、一般講演でも我々の研究の一端を御紹介させていただいたわけでございます。皆様のお役に少しでも立つことができれば幸いです。

最後になりましたけれども、皆様の、我々へのこれまでの御指導、御鞭撻に改めて感謝を申し上げますとともに、今後の御支援をお願いして私の御挨拶といたします。本日はどうもありがとうございました。

